

2013年 第9回 国際美食養生コンテスト

～ シンガポール・マレーシアの旅 ～

2013年8月12日～18日(観光を含め6泊7日)の日程にて、本草薬膳学院・国際薬膳師会主催による「マレーシア 第9回国際美食養生コンテストの旅」が行われました。マレーシアにて開催されました国際美食養生コンテストの様子をメインに、今回(第41号)から3回に分けてレポート致します。



(文:研究科コース 岡野定 玲子)

昨年この国際美食養生「長寿杯」コンテスト ～「各国の薬膳」勉強しながら「中国の世界文化遺産」を巡る旅～に参加し、全てが初めてのことばかりでしたが、とても楽しく有意義で、美味しかった、まさに美食の旅だった。

今年は、シンガポール・マレーシアと、案内をいただいたのは、国際薬膳師の試験会場だった。

そして、目の前の試験官としていらしていた鷺見先生から、「今年も一緒に行きましょう。」と言っていたこと、実は今年2月にシンガポール旅行を計画していたが、父が旅行日の前日に亡くなり、キャンセルした。父が2月でなく8月の旅行を導いてくれたような思いがしたこと、参加を決めた。

8月12日(月)

成田空港からおよそ6時間、シンガポールのチャンギ国際空港に到着。私たち9名をシンガポールのコンテスト関係者の方が、赤く目立つ「国際美食養生…」と書かれた大きな横断幕を持って、笑顔で熱く迎えてくれた。空港から一歩外に出ると、高くそびえる椰子の木、ピンクのかわいい花タペイヤが目に入り、一度に南国の景色と暑さが迫ってきた。



8月13日(火)

市内観光は、シンガポールのシンボルであるマーライオンと、マリーナ湾に浮かび上がるマリーナ・ベイ・サンズを眺め、記念撮影。生憎の小雨だったが、

マーライオンの大きく開いた口から勢いよく海に吐き出す水しぶきを見て、確かにシンガポールに来たことを実感した。



マリーナ・ベイ・サンズは堂々とした3つのタワー(ホテル)が屋上庭園で繋がっていて、世界一高いところにあるプールもあるという。眺めただけでも、ただただすごい!次は是非、下からでなく屋上庭園の上から下を眺めてみたい。

昼食はアジアでも評価が高い大学といわれているシンガポール大学の構内にあるシンガポール大学同窓会館での食事。参加国、シンガポール、マレーシア、中国、韓国、台湾、日本…などの方々と交流しあいながらの豪華なシンガポールと中華の食事。同じテーブルについて日本語が堪能な韓国の料理人と親しくなった。その後、その方たちとは会うたびに、「こんにち」「アニョハセヨ」などと挨拶を交わすようになった



バスでマレーシアのジョホール州へ。シンガポールを出国し、マレーシアへの入国も興味深かった。入国審査を受け、スーツケースも同じように。そしてマレーシアのバスに乗り換える。ちょっとの距離なのに、椰子の木があり南国ではあるが、シンガポールとは雰囲気が違う。

数時間バスに揺られ、会場のクラン市のホテルへ。しかしコンテスト会場はホテルから少し離れたところにあり、明日の確認のため、参加者全員が大型バス3台で移動。会場は金華崙酒樓という大きなレストランだ。



コンテスト前日なのに、まさに、コンテスト開始のようだった。参加される選手の方々は大変だった。道具、材料、厨房の場所などが予定通りでない。しかし、やるしかない、みんな旅の疲れなど言っていられない。頑張るしかない。結局、確認だけの予定が準備になり、ホテルに戻ったのは10時過ぎ。選手の方は11時。

(以下、続きは42号へ)

